

令和7年11月25日

嘉麻市長 赤間 幸弘 様

嘉麻市行政経営推進審議会
会長 美谷 薫

第5次嘉麻市行政改革大綱及び実施計画について（答申）

令和7年7月14日付けで貴職から諮問のあった標記の件について、本審議会において慎重に審議を行った結果に基づき、下記のとおり答申いたします。

記

本審議会では、諮問を受けた第5次嘉麻市行政改革大綱及び実施計画について、計4回にわたり、慎重かつ積極的に審議を行ったところです。

その結果、第5次行政改革の内容については、これまでの行政改革等の取組項目の一部において、年度目標や効果見込額が明示されていなかった数値目標が具体的に明示されている点は、概ね評価できるものと判断します。

しかしながら、議論過程においては、令和7年9月29日付で貴職に提出した第4次行政改革実施状況に関する答申においても取り上げたように、進捗と成果を客観的に把握し、明確に評価できる仕組みを確立すること、既存事業の継続を前提とせずゼロベース思考による事業の再構築を徹底し、財政規模に見合った行政運営の仕組みを早急に確立することを強く求める意見が多く出されたところです。

さらに、人口減少に伴う税収の減少や加速する高齢化による社会保障費の増加はもとより、本庁舎や義務教育学校3校建設費の起債償還に伴う公債費の増加など、今後も極めて厳しい財政状況が続くことが確実に見込まれています。収支計画において大幅な収支のマイナスが続く点も懸念材料であり、これまでの取組でも、効果見込みと実績が次第に乖離してきた点を考慮すれば、取組の実効性を高めるための、抜本的な改革のあり方を改めて全庁的に検討する必要があるものと考えます。そのためにも、近年の財政悪化に係る要因分析や嘉麻市を取り巻く環境に係る事実認識をよりの的確に行うことが求められます。

については、それらの意見等を別紙のとおり取りまとめましたので、十分に留

意され、さらなる行政改革の推進のため、実効性と成果を重視した対応を強く求めます。

第5次行政改革にあたっては、より一層、市長がリーダーシップを発揮され、職員とともに一丸となって知恵と工夫を凝らし、また、議会や市民の皆さんとの協力を図りながら、成果を伴う行政改革の断行に取り組まれることを強く要請します。

別 紙

審議会意見

■ 全般に関する事項

第4次行政改革実施状況に関する答申においても取り上げたように、これまでの行政改革の延長的な取組では、現下の危機的な財政状況を打開することは極めて困難であり、抜本的かつ構造的な改革の断行が不可欠であると本審議会は認識しています。

行政が最低限すべきこと、行政がしなければならないことが何であるのか、という議論をしっかりと行い、ゼロベースからの事業の組み立てを検討しながら、財政規模に見合った行政運営の仕組みづくりについて検討することを強く要望します。

また、すべての取組について明確な数値目標を設定した上で、進捗と成果を客観的に把握し、評価できる仕組みを整備するとともに、実効性をより一層確保できる管理体制の構築を求めます。

■ 第5次行政改革大綱

社会情勢の急変に伴う人件費や委託料の増加等が財政悪化の一因とされていますが、要因分析としては未だ不十分であり、より具体的で根拠に基づく事実認識の提示が求められます。

また、今後の中長期的な財政見通しに対しては、単なる傾向分析にとどまらず、財政危機を回避するための戦略的な計画提示が必要です。

行政改革は、単に歳入確保や歳出削減にとどまるものではなく、行政の果たすべき役割を改めて見直し、本質的な施策を的確に捉え、市民生活に支障を及ぼさないよう最大限の工夫と知恵をもって進める必要があります。

■ 計画的な財政運営 取組項目1 関連

収支バランスの改善や財政調整基金を取り崩さないといった目標を掲げるにとどまらず、実行可能性と結果責任を明確化した計画管理の強化が不可欠です。

第4次行政改革実施状況に関する答申で指摘したとおり、財政規模に見合った行政運営を実現するため、各年度の取組目標等をできる限り具体化し、着実な実行を求めます。

■ 水道事業会計の安定的な財政運営 取組項目 5 関連

給水人口の減少により収益が減少している中で、水道料金改定は一定の理解が得られるものですが、そのみで持続的安定を確保することは困難です。

改善の見られない有収率向上対策など、関連施策を総合的に講じ、水道事業全体の経営構造改革を検討されるよう求めます。

■ 職員数の適正化 取組項目 1 1 関連

■ 会計年度任用職員数の適正化 取組項目 1 2 関連

■ 働き方改革の推進 取組項目 2 1 関連

人件費抑制のための職員数削減は必要な取組である一方、市民がより良いサービスを享受するためには、職員の心身の健康維持と業務品質の確保も不可欠です。

単なるコストの削減に終始することなく、業務量や配置の分析を行い、D X活用や業務効率化を通じて、少数精鋭で成果を上げる持続的な組織運営を目指し、健康に働くことができる職場環境の醸成も重要です。

■ 地域包括支援センター業務等の見直し 取組項目 1 3 関連

■ 土木作業業務等の見直し 取組項目 1 4 関連

■ 学校用務員・図書司書業務等の見直し 取組項目 1 5 関連

■ 浄水場管理運営業務等の見直し 取組項目 1 6 関連

■ 社会体育施設管理業務等の見直し 取組項目 1 7 関連

業務等の見直しにかかる取組については、これまで繰り返し掲げられているものの、十分な進捗が見られない取組も存在しています。このように、実現可能性の低い施策を漫然と継続することの弊害を重く受け止めるべきです。

達成が見込めない取組については、速やかにゼロベースで見直し、限られた資源を効果的に再配分する姿勢が求められます。

■ 市有財産の売却等の推進 取組項目 2 3 関連

歳入確保につながる極めて重要な施策であるにもかかわらず、公共施設跡地の利活用方針の策定や遊休地売却の進捗が遅れていると考えます。

民間活力の導入や公民連携（P P P／P F I）など幅広い視野や柔軟な発想を積極的に取り入れ、スピード感をもって実行することを求めます。

・審査の経過について

令和7年7月14日から4回にわたり、次のとおり審議を行いました。

回	開催日時	開催場所	審査の概要
1	7月14日	嘉麻市役所 本庁舎4階 防災対策室	・諮問 ・審議会日程の確認
2	9月29日	嘉麻市役所 本庁舎5階 5A会議室	・第5次行政改革大綱及び第5次行政改革実施計画について（審議）
3	10月20日	嘉麻市役所 本庁舎5階 委員会室2	・第5次行政改革大綱及び第5次行政改革実施計画について（審議）
4	11月10日	嘉麻市役所 本庁舎5階 委員会室2	・答申書案の審議
5	11月25日	嘉麻市役所 本庁舎5階 5A会議室	・答申書案の審議 ・答申書の提出

・嘉麻市行政経営推進審議会委員名簿

氏 名	肩書等 ※諮問時点
(会長) 美 谷 薫	大分大学准教授
(副会長) 藤 井 正 博	九州北部税理士会飯塚支部税理士
林 田 史 朗	福岡銀行稲築支店長
大 野 繁 治	嘉麻市誘致企業振興会副会長
三 船 國 弘	嘉麻商工会議所顧問
頼 金 豊 子	嘉麻市行政区長連合会代表者会
大 森 成 順	嘉麻市民生委員・児童委員
長 野 美 津 子	かま男女共同参画推進ネットワーク会員
永 富 靖 人	公募委員
野 見 山 桂 子	公募委員
松 田 クニ子	公募委員
大 里 理 子	公募委員

※任期：令和6年9月15日～令和8年9月14日